



ひまわり



病院長からのご挨拶

この4月から、付属病院長に就任しました岩崎信明です。私は2004年に茨城県立医療大学に着任し、早いもので、本学13年目に入ります。その間、多くのことがありましたが、付属病院では小児の神経疾患を中心にリハビリテーション診療に関わり、診療科長、地域医療連携部長として運営に携ってきました。今回、付属病院長になるにあたり、幅広い視野を保ち、スタッフと協力しながら、リハビリテーションを必要とする疾患における診療の進歩を踏まえ、小児期から老年期に至る人生の時期や、回復期・生活期という病期を鑑みつつ、時代に即した新しい治療法の導入なども進め、本院を利用される皆様のお役にたっていきたいと思っております。

さて、茨城県立医療大学付属病院は1996年に開院し、リハビリテーション専門病院としてリハビリテーション医療を中心とした診療を通じて、多くの県民の方々の健康の回復、維持、増進に取り組んできました。昨年12月には20周年記念式典を行い、多くの方々にお集まりいただきました。その記念事業で、病院正面玄関の右手奥の保育園の壁に可愛い絵を描いていただきましたのでご覧いただければと存じます。そして、この場をお借りしてこれまで本院の活動にご理解、ご支援いただきました多くの皆様方に感謝を申し上げます。

また、付属病院は茨城県立医療大学をはじめ医療専門職をめざす学生の実習の場として、病院職員や大学教員、県内の医療専門職の研究の場として、多くの機会を提供しています。さらに、茨城県指定地域リハビリテーション支援センター、小児リハ推進支援センターとして、県内のリハビリテーションに係わる医療・福祉機関のネットワークづくりや人材の交流、情報の収集・発信、各種の研修会など、リハビリテーションを支える人材の育成、医療の質の向上にも取り組んでおります。

今後とも、患者さん・ご家族の声に耳を傾けて、患者さんが快適な環境でリハビリテーション治療に専念され、安全で質の高いリハビリテーション医療が受けられるよう職員一同一丸となって努力していく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。



茨城県立医療大学付属病院
院長 岩崎 信明



バクロフェン髄腔内持続投与療法 (ITB療法)を開始しました!!

整形外科 俣木 優輝

痙縮に対する治療のひとつにバクロフェン髄腔内持続投与療法（ITB療法）があります。昨年度より当院でもITB療法を行うことが可能となりました。

脊髄前角細胞への抑制が不十分となり、伸張反射の亢進によって生じる異常筋緊張が痙縮です。屈曲方向の痙縮が強いと曲げる力が常に入っている状態となり、関節を伸ばしにくくなります。

原因としては、脳や脊髄の病気があり、脊髄由来の疾患には脊髄損傷、後縦靱帯骨化症、脊髄血管障害、脊髄炎、脊髄腫瘍、遺伝性脊性対麻痺、脳由来の疾患には脳性麻痺、頭部外傷、脳血管障害、低酸素脳症、脳卒中、脳腫瘍、多発性硬化症などがあげられます。

痙縮の治療として①内服（中枢性筋弛緩薬、末梢性筋弛緩薬）、②注射（フェノールブロック、ボツリヌス療法など）、③手術（神経切除術、整形外科手術）、④装具療法、⑤ITB療法があります。当院では以前より痙縮に対して内服、ボツリヌス療法、整形外科手術、装具療法を用いた治療が可能でした。

ITB療法とは？

体内埋め込み型ポンプを腹部に埋め込み、カテーテルから持続的にバクロフェンを髄腔内に投与し痙縮をコントロールする治療法です。

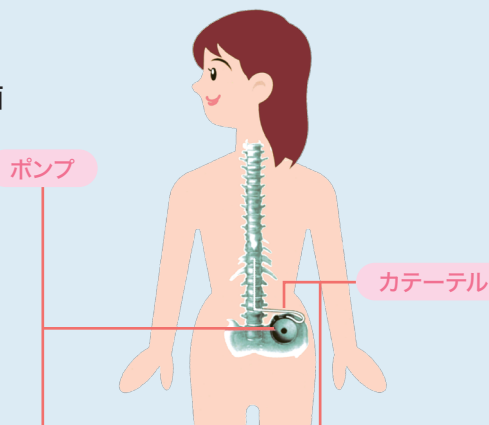
①スクリーニング検査（腰椎穿刺を行いバクロフェンを髄腔内に投与）で効果を認めた症例に、②腹部にポンプ植え込み、背中からカテーテルを挿入します。③ポンプの情報を機械で読み取り、投与量を調整することができます。

3ヶ月毎に薬液の補充が必要です。5-7年で電池消耗のためポンプ入れ替えが必要です。薬液量の減少、注入停止、電池残量が低下した場合、ポンプのアラームが鳴ります。

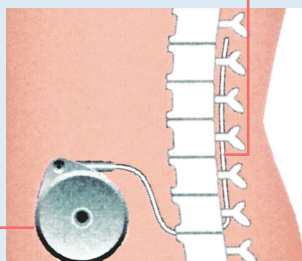
MRI検査は、条件によっては検査可能です。ITB療法で治療中の患者さんは患者手帳や緊急連絡カードを携帯しています。

ITB療法患者数はアメリカでは70000例超（人口約3億2千万人）、日本では約1800例（人口約1億2千万人）であり、今後症例数が増加すると考えられます。

正面



側面



バクロフェン髄注療法
(ITB療法)

患者手帳

この手帳の持ち主には、医薬品注入ポンプが埋め込まれており、髄腔内へバクロフェンが継続投与されています。

緊急の場合は、6-7ページに記載されている医療機関の担当医師にご連絡願います。



単純X線

緊急連絡カード

氏名: _____
生年月日: 明・大・昭・平 年 月 日
TEL: _____
私は髄腔内にバクロフェンを持続投与するために体内に医療機器(ポンプ、カテーテル)を埋め込んでいます。
病院名: _____ 病院 科
診療科: _____
医師名: _____
TEL: _____
Medtronic 第一三共株式会社

画像は、第一三共株式会社 ITB療法ウェブサイトより転載。



茨城県立医療大学附属病院

Ibaraki Prefectural University of Health Sciences Hospital

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4733

TEL.029-888-9200(代) ホームページ <http://www.hosp.ipu.ac.jp/>